

事故や病気で脳に損傷を受けた後に、子供が変わってしまい、家庭や学校の中でこんなことに困っていませんか？

* 忘れる *



- 勉強や生活面で、積み重ねが難しくなる
- 自分の下駄箱の場所や教室の自分の机の位置を覚えるのが難しくなる
- 学校や友人との出来事を忘れてしまう
- ※出来事は忘れても、友人とのけんかで言われたことやその出来事自体の「辛かった」等の負の感情は残る場合がある

【対応方法】

- 本人が出来事や今後の予定（宿題等含む）を確認するためのメモやノートを作成する
- 学校と家庭で宿題の量と内容を確認する（自力で終わらせることができる量に調整することも必要）

* つかれやすい *



- 元気だったのが、急に元気がなくなる
- 学校では元気がだが、帰宅後はぐったりしている
- いつまでも、はしゃいで落ち着けない

【対応方法】

- 保健室などで休憩をとる
- 学校から帰宅後に時間を決めて昼寝をする

* すぐ怒る *



- 受傷前と後で、性格が変わってしまう（明るくなる、おとなしくなる等）
- 我慢できず、人、場所に関係なくすぐ怒る（よく泣く、雰囲気に関係なく笑う等もある）

【対応方法】

- 本人の言い分を聞き、落ち着いてからどうしたらよいかを本人と話し合う

他にも

- 集中できない・年齢より幼い言動がみられる・物事にすぐに取りかかれない
- しつこくなる・爪先や人との接触等に過敏に反応する（感覚過敏）・音、声などに過敏に反応する、耳に手をあてる等（聴覚過敏）などもあります。
- ※感覚過敏や聴覚過敏は、自分でこの状態を言葉にするのは難しいです。



大切なポイント

- 高次脳機能障害の症状「約束を覚えられない」「すぐに怒る」などがあるため、友達との関係がうまくいかずトラブルになることもあります（同級生等に高次脳機能障害を理解してもらうのも難しい。）。
- 受傷の年齢にもよりますが、受傷前のことは覚えていることが多く、以前の自分と比較し「自己肯定感」がもてなくなる場合もあります。
- 周囲の理解や配慮、環境設定が足りないと二次的な障害（暴言、暴力、自傷行為、学校への行き渋り等）が起こることがあります。本人が自信を失うことなく、安心して過ごせるような配慮が必要です。
- 症状や生じる問題は、年齢や障害状況などにより個人差があります。そのため、個々の特性に合わせて対応していくことが大切です。
- 進学や就労などの子どもの将来の支援につなげるためにも、保護者、学校、医療機関、福祉等が連携し、切れ目なく対応していくことが必要です。

相談機関

■ 高次脳機能障害に関する相談機関

- 東京都心身障害者福祉センター
（東京都高次脳機能障害専用電話相談）
電話 03-3235-2955
受付時間 9時～12時、13時～16時
- 区市町村の相談窓口
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 子供の発達や育児に関する相談機関

- 東京都児童相談センター・児童相談所
- 子供家庭支援センター
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 学校教育に関する相談機関

- 東京都教育相談センター
- 区市町村の教育相談所（室）
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 精神保健福祉に関する相談機関

- 東京都立中部総合精神保健福祉センター
- 東京都立多摩総合精神保健福祉センター
- 東京都立精神保健福祉センター
※都内に3か所あります。連絡先は、担当地域によって異なります。
- 保健所・保健センター
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 地域の相談窓口

作成：東京都心身障害者福祉センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1（セトリブラ 13階） 電話03-3235-2956

登録番号(5)18

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

頭の病気（急性脳症・低酸素脳症・脳腫瘍など） けが（交通事故・転落・脳しんとうなど） による後遺症

『あの日から変わってしまった、うちの子は・・・』

もしかしたらお子さんは

高次脳機能障害 かもしれません

「約束したはずなのに・・・」



「やる気がない？怠けてる？」



* 忘れる *

「さっき・・・？
続き・・・？」

「さっきの続きやろうよ！」



* つかれやすい *



「ねむい・・・」



* すぐ怒る *

「そんなに怒るコト？」



「勝手に動かしたな！」

「やさしかったのに、
すぐ怒るようになってしまった」



「どうなっちゃったの？」



東京都

高次脳機能障害とは

お子さんが転倒や転落、交通事故やスポーツ事故などで頭を強く打ち、脳しんとうを起こしたり、意識がなくなったりしたことがありますか。

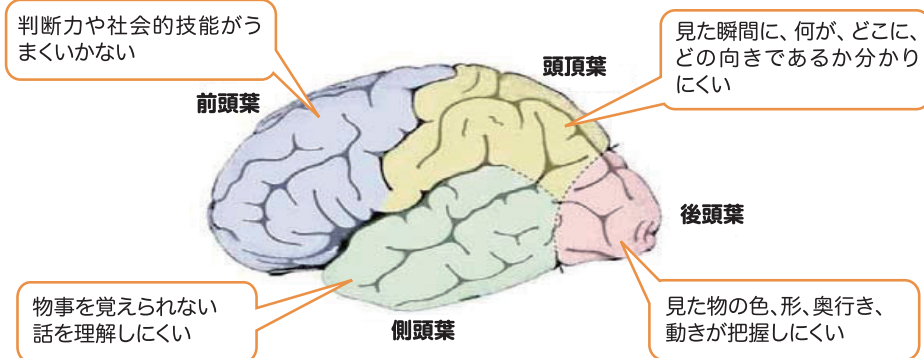
突然の激しい頭痛や手足のけいれんにより、救急車で運ばれたことはありませんか。

高次脳機能障害とは、事故や病気などで脳が損傷を受けたことによる後遺症で、記憶・注意・思考・行為・空間認知などの脳機能の一部に障害が起きた状態をいいます。

【原因となる主な疾患】

急性脳症、髄膜炎、頭部外傷（脳挫傷、硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳内血腫、外傷性クモ膜下出血、びまん性軸索損傷など）、低酸素脳症、脳血管障害（脳梗塞、脳出血、脳動静脈奇形、もやもや病など）、ウイルス性脳炎、脳腫瘍など。

事故や病気により脳に損傷を受けると、損傷した脳の部位により、以下のような症状が出る場合があります。



子供の高次脳機能障害の特徴

- * 覚えられない
- * 段取りが悪い
- * 時間がかかる
- * 集中できない
- * すぐにキレル
- * つかれやすい

- ※ 脳損傷の原因や程度により症状は異なります。
- ※ 発達の段階や周りの環境（家庭・学校）により症状は変化します。

発達障害とちがうの？

* いわゆる発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症など）の多くは、生まれた後の事故や病気が明らかでなく、生まれつきの脳機能の障害が原因で生じると考えられています。一方、高次脳機能障害は、事故や病気などによる後天的な脳損傷が原因の「中途障害」です。

* 高次脳機能障害は、発達障害と同様の症状が継続して見られる場合、発達障害の診断がつくこともあります。

高次脳機能障害は、健康だった子供が事故や病気により以前と違った状態になるため、本人、保護者、兄弟姉妹、同級生、学校関係者は、受け入れることが難しかったり、とまどうことがあります。

障害による情緒面の変化が、性格によるものと誤解されたりするので配慮が必要です。

高次脳機能障害のチェックリストと主な症状

* 事故や病気により脳が損傷された後に、お子さんに以前と変わった様子はありませんか。以下のチェックリストで確認してみましょう。

チェックリスト

- ☐ 今日の授業で何をしたか思い出すことができない
- ☐ 毎日会う友だちや担任の名前、日付を覚えられない
- ☐ 何度も同じことを聞く
- ☐ 少し前に言われたことを覚えていない
- ☐ 友だちとの約束を忘れたり、重複したりする
- ☐ 人に言われたことを都合良く解釈し、作り話をする
- ☐ 一度覚えたことに対する修正がきかない

- ☐ 授業中にぼー一つとしたり、反応が鈍くなることがある
- ☐ ちょっとした音や様子に影響を受けやすい
- ☐ 会話の途中で思いついたことを一方的に話してしまう
- ☐ 二つのことを同時にやろうとすると混乱する
- ☐ 要領を得ない話をだらだらとする

- ☐ 今何をしたらよいかわからない
- ☐ 言われたとおりのことしか行動できない
- ☐ 次の授業の準備を自分からすることができない
- ☐ 計画性がなく、行き当たりばったりの行動が多い
- ☐ 作文や感想文をどう書いたら良いのか分からない

- ☐ やりたいことを我慢することができない
- ☐ 気分がハイテンションになると止まらない
- ☐ 気持ちの切り替えができず、しつこいことがある
- ☐ その場にふさわしくない行動をとり、止められない
- ☐ 周りを気にせず、思ったことをそのまま言ってしまう
- ☐ 一つのことにとこだわり、やりきらないと気が済まない
- ☐ 無気力・無関心のように見える
- ☐ 学校で頑張りすぎて、家庭では疲れて極端に機嫌が悪くなったり甘えたりする
- ☐ すぐ怒ったり、キレやすい

- ☐ 整列ができない
- ☐ 人とのちょうど良い物理的な距離感が分からない
- ☐ 教室を移動するときに迷う
- ☐ 人や物によくぶつかる

- ☐ 人の話を集中して聞けなくなる
- ☐ 疲れの度合いによって学習の理解度が大きくちがう
- ☐ ぼー一つとしたり、あくびをすることが多く、怠けているように見える
- ☐ すぐ眠くなったり、うとうとしてしまう
- ☐ 良い姿勢を長時間保つことができない

主な症状

「記憶障害」かもしれません

新しいことを覚えることが難しくなったり、少し前のことが思い出せない、約束を忘れてしまったりする障害です。

「注意障害」かもしれません

集中力が続かなかったり、気が散りやすい、複数のことを同時にできなくなったりする障害です。

「遂行機能障害」かもしれません

物事を計画的に行うことや、段取りよく行うこと、優先順位をつけることが難しくなる障害です。

「社会的行動障害」かもしれません

自分の行動や感情をコントロールすることが難しくなる障害です。

「空間認知の障害」かもしれません

周りの人や物、場所などの位置関係が分からなくなったりする障害です。

「易疲労性の症状」かもしれません

脳に損傷を受けると、とても疲れやすくなります（神経疲労といいます。）。

* 高次脳機能障害は、症状によって各種障害者手帳（身体障害・知的障害・精神障害）の取得や福祉サービスを利用することができます。また、学校においては、特別支援教育等の教育的支援を受けることができます。